

い

編集発行：池田市議会
住所：大阪府
池田市城南
1丁目1番1号
郵便番号：563-8666
TEL：072-752-1111
FAX：072-753-5414
<http://www.city.ikeda.osaka.jp/>

けだ

No.168

いけだ市議会だより

令和2年（2020年）2月1日



令和2年 池田市成人式の集い

12月定例会 2

意見書 2

議会日誌 3

一般質問 4

委員会レポート 10

議決結果 12

やまばと 12



12

月定例会



12月定例会は、12月3日に開会し、市長から報告案件2件と議案13件が提出され、本会議及び委員会で審議を行い、修正可決された1件を除き、いずれも承認・可決しました。

また、9月定例会で閉会中の常任委員会に審査付託した平成30年度決算8件についても認定しました。

12月23日・24日の継続会では、市民の声を広く市政に反映させるため、16人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

また、市長から提出された追加議案9件を審議し、いずれも原案どおり可決し、12月定例会を閉会しました。

行政組織の再編案を一部修正

市長から、行政組織を再編する条例改正案が提出されました。

付託された総務委員会では「市長公室」を「市長官房」に「総合政策部」を「経営戦略部」に改称することなどについて、質疑が行われました。

委員会の質疑では、「市長官房に改称することで、市民が混乱するのではないか」「経営戦略という言葉は企業が多用するものではないのか」「環境部を廃止することとは、時代の流れに逆行するのでは

言葉はなじまない」などの意見が出され、結局、修正案を賛成多数で可決しました。

五月山動物園、市営住宅、都市計画公園などの指定管理者が決定

五月山動物園等の公園施設を五月山パークマネジメント共同企業体が管理を行う指定管理者の指定に係る議案が提出されました。

審議の中では、「市民サービスより、管理者側の利益が優先される」「災害時の対応が懸念される」などの反対意見が出されましたが、「民間のノウハウを活用し、市民サービスが向上する」などの意見が出され、結局、賛成多数で可決しました。

また、その他同時に提案のありました市営住宅等及び五月山体育館や総合スポーツセンターなどのスポーツ施設の指定管理者には、一般財団法人池田みどりスポーツ財団を、池田城跡公園等の指定管理者には、阪神園芸株式会社を、都市計画公園等の指定管理者には、池田都市公園パークマネジメント共同企業体をそれぞれ指定しました。

行政手続の一部オンライン化を目指します

将来的にパソコンやスマートフォンなどを利用して、電子申請することにより、行政手続がオンラインでできるようにする条例改正案が提案されました。

審議の中では、「本条例改正はマイナンバーカードの普及を目的としており、個人情報漏洩が懸念される」などの反対意見が出されました。

一方、「市民の負担が軽減され、行政サービスの利便性が向上する」「オンライン化されても窓口業務は引き続き行われる」などの意見も出され、結局、賛成多数で可決しました。

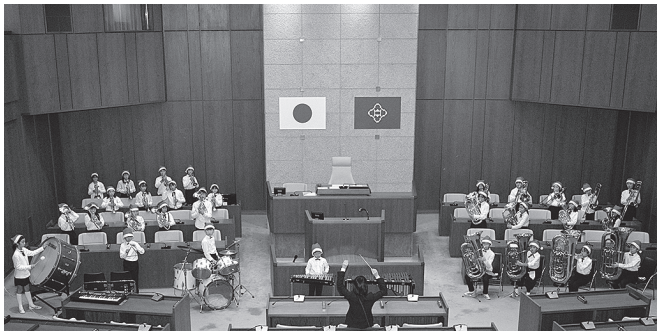
意見書

12月定例会においては、次の意見書を探択し、関係機関に送付しました。

○「再審法（刑事訴訟法の再審規定）」の改正を求める意見書

秦野小金管クラブによる 議場コンサートを開催

より身近に議会を感じてもらい、議会を傍聴いただくきっかけになればと、12月定例会の最終日に議場コンサートを開催しました。秦野小学校金管クラブの児童31名が演奏し、約80名の市民、保護者が鑑賞しました。



手話通訳による 傍聴のご案内

本会議を傍聴される際に、手話通訳をご利用いただくことができます。

ご希望の方は事前に（おおむね傍聴希望日の5日前までに）議会事務局（FAX 072-753-5414）までお申し込みください。



議会の予定

3月定例会は、次の日程で開催する予定です。本会議・委員会はいつでも傍聴できます。開会は、いずれも午前10時からの予定です。（定員あり）

2月27日(木)	本	会	議
3月 5日(木)	本	会	議
3月 6日(金)	本	会	議
3月10日(火)	委	員	会
3月11日(水)	委	員	会
3月12日(木)	委	員	会
3月16日(月)	委	員	会
3月25日(水)	本	会	議

議 会 日 誌

12月
12月3日 議会運営委員会

11月
11月14日 議会運営委員会
11月29日 各派代表者会議
議会運営委員会

11月5日 市議会だより編集
特別委員会

11月
10月29日 総務委員会

10月
10月24日 文教病院委員会
各派代表者会議

10月
10月11日 厚生委員会
10月8日 土木消防委員会

10月
10月1日 決算説明会
議会運営委員会

1月
1月16日 市議会だより編集
特別委員会

1月
1月9日 市議会だより編集
特別委員会

12月
12月24日 市議会定例会
議会運営委員会

12月
12月23日 各派代表者会議
議会運営委員会

12月
12月12日 総務委員会
12月11日 文教病院委員会

12月
12月10日 厚生委員会
12月9日 土木消防委員会

12月
12月5日 市議会だより編集
特別委員会

12月
12月5日 市議会定例会



一般質問は、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので、定例会に限って行います。今議会は16人の議員が市政全般について、市長及び関係部署の考えをいただきました。主な内容は次のとおりです。

(一般質問の内容については、質問議員各自の原稿によって編集しています。)

問 猪名川新避難マニュアルと災害対策について
(新生クラブ)

猪名川河川での集中豪雨や地震災害等を想定し、新たな備えとして新しい避難マニュアルや防災訓練等が必要になると考えるが。

答 地域防災計画の見直しや業務継続計画の周知

地域防災計画において、大きな影響を及ぼす「有馬高槻断層帯」「上町断層帯」の地震被害を想定している。風水害では内水が時間雨量140ミリ、河川が200年に一度の大雨等を想定し、ハザードマップで周知している。大阪府が管理する河川では、浸水想定を見直す動きがある中、起こりうる被害を想定したタイムラ

インの作成を行う。

今後は、これらに合わせた住民避難訓練や安否確認訓練の実施に向けて検討していく。

問 避難行動要支援者への支援体制について
(大阪維新の会池田)

名簿の整備状況、避難訓練の取り組み状況について問う。

答 情報提供に努め配慮した取り組みを実施する

高齢者のみの世帯や要介護認定者、障がい者等に名簿提供に同意をいただいている。また、一部地域で要支援者に配慮した避難誘導・避難所運営訓練を実施している。今後、地域の関係機関と信頼関係を築き、協力を求めていく。

問 避難所への空調機器整備について
(自民同友会)

市立小中学校、義務教育学校の体育館への空調機器の整備の必要性について問う。

答 空調機器の整備は必要であると認識している

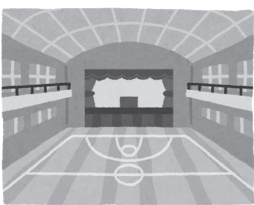
現在、施設管理者である教育委員会と連携を取りながら、財政面も考慮した上で、空調機器整備について検討している。

問 小学校体育館への空調設備の設置は
(無所属の会)

災害避難所の観点で、早急に小学校体育館に空調設備の設置を。

答 小学校の空調設備は今任期中に設置予定

緊急防災・減災事業債の活用により、今任期中に体育館への空調設備の設置を順次進めていく。



問 石橋駅前会館の更新事業について
(自民同友会)

石橋駅前会館の建てかえ工事のタイムスケジュールについて問う。

答 石橋地域の拠点となる複合施設として計画

石橋地域活性化の拠点施設として、令和2年度に、既存施設の解体工事、令和4年度当初のオープンに向け、計画を進めている。

問 市民の願いが生きる新石橋拠点施設を
(日本共産党)

現石橋駅前会館跡地に開設予定の新石橋拠点施設は図書館機能に加え、大集会室・学習室の存続、休日でも住民票などが取れた市民サービスコーナーの復活、期日前投票や周辺公共施設の一部事務事業の実施など市民の声に応えた施設にすべき。

答 大集会室等は設けずサービスコーナーは困難

大集会室・学習室は今では考えていない。市民サービスコーナー復活は困難。期日前投票は次回の統一地方選から実施予定、鍵の保管等周辺公共施設の一部実務を行う。太陽光発電・蓄電池装置を設置。

一般質問議員

一般質問を行った議員は、次のとおりです。

1	藤本	昌宏	(公明党)
2	瀧澤	智子	(大阪維新の会)
3	守屋	道明	(青風クラブ)
4	下坂	昭	(新生クラブ)
5	西中	正隆	(青風会)
6	石小	林義典	(大阪維新の会)
7	小林	吉隆	(自民党)
8	小多	林田	(日本共産党)
9	多	地黒	(公明党)
10	安山	元原	(無所属)
11	藤前	美知子	(日本共産党)
12			(新)
13			(新)
14			(新)
15			(新)
16			(新)

(※質問順)

問 マイナンバーカードの 保険証機能の整備は (無所属の会)

マイナンバーカードを健康保険証として活用できるシステムを、本市は構築しているのか。

答 カード交付の促進を 今後図っていく

マイナンバーカード普及率は10月末現在15・2%、市職員全体では12%の現状。システム整備は来年度より開始し、健康保険証カードとしての本格的運用開始は、令和3年までに完了する予定。

問 市民ニーズの反映を どのように検討するのか (青風会)

直接民意であるタウンミーティングや地域コミュニティ推進協議会との話し合いを多く開催されているが、間接民意である市民満足度調査(CS)等の実施も必要だと感じるが検討してほしい。

答 地域との意見交換を きめ細かに実施していく

地域との意見交換は、現在、行っているタウンミーティングや地域コミュニティ推進協議会との話し合いを行うことで直接民意が生

きていると考えている。間接民意については確かに必要であると考えており、市民満足度調査の実施も含めて、今後、検討していきたい。

問 スマートシティへの 取り組みは (新生クラブ)

新しい公共の形成に向け、暮らしを支える担い手の確保、環境整備、維持に向けた仕組みづくりは、

答 地域分権制度を改変し 拠点整備に取り組む

各地域にスマートコミュニティの拠点となる施設を整備し、防災・防犯、見守り等の共助に重点を置いた小規模の連携を検討し暮らしを支える仕組みづくりを推進する。

問 池田版DMOの現状と 今後の観光行政の行方 (大阪維新の会池田)

池田版DMOは自立自走が目標。その現状と観光協会や新しい指定管理者との連携を問う。

答 自立自走は困難だが 販売収益の拡大を目指す

池田版DMOは市内業者からの協賛金や会費のみによる運営を目指したが、困難な状況である。今後は探索型の謎解きゲームやクーポンの発行など来訪者への販売収益も確保し、税の投入を抑える。また、五月山公園などの観光施設に指定管理者が選定されるなど、施設管理の変革期にある。今後は民間活力を導入し、これまでの政策との整合性を図りつつ、観光客を誘致し、魅力ある地域の活性化を目指す。

問 職員の働き方改革への 取り組みについて (新生クラブ)

日本の生産性や長時間労働が話題になり、公務労働についても生産性の向上と低い付加価値の是正が求められているが本市の対応は、

答 職員の実状に応じた 多様な働き方の環境整備

年次有給休暇の年間5日以上の取得の周知、勤務時間の弾力運用など環境整備を行い、業務改善には事務事業の見直しや研修を通して平準化と削減につなげていく。

問 人事評価制度の充実と
キャリアアップの実践

(新生クラブ)

若手職員のモチベーション維持とキャリア実現に向けた、本市の取り組みについて問う。

答 管理職のマネジメント能力の
向上と適正評価

職員への自主性や意識醸成を図り、希望のキャリアを適切に指導。

問 職員の礼節について

(自民同友会)

挨拶は人間社会の秩序の基礎であり、思想信条や政治信条、好き嫌い以前の問題である。市民の方から市職員は最近挨拶ができないと耳にする。市長がかわり庁内が暗くなっているように感じるが市職員の規律は。

答 今後とも指導していく

市職員は新規採用の段階で挨拶の重要性や市民への積極的な声掛けなど市職員として身に付けておくべきマナーについて研修受講を必須としている。普段から丁寧な応対を心がけるよう今後とも指導していく。

問 庁内文書や通知文の
ペーパーレス化について

(大阪維新の会池田)

議会では各種文書のペーパーレス化を検討中である。本件は理事者との連携も必要であり、庁内改革も伴う。本市のペーパーレス化について問う。

答 事例研究を進め
会議のペーパーレス化を検討

議会との連携はないが、職員向けには各種通知文や連絡文書は庁内システムで運用中。タブレット端末を用いた会議で紙使用量を大幅に削減した他市の事例を参考に、ペーパーレス化を研究中。

問 庁内における地震防災対策
について問う

(新生クラブ)

近年は地震や台風などの災害が頻発し、防災対策が重要。有事の際は市庁舎が災害対策本部となるが書類棚や複合機の固定がなされておらず、地震発生時危険であると感じる。什器備品の固定を含めた庁内の地震対策について問う。

答 全庁的に調査を行い
順次対策を進める

これまで建屋の耐震補強や非常用発電機の更新などを実施した。什器・備品は人事異動等に柔軟に対応すべく固定できていなかった。全庁的に調査を行い、危険性の高いところから順次対策を講じる。

問 ほそごう学園の
中庭施設について

(大阪維新の会池田)

中庭に設置された可動式のホワイトボードと石の椅子について安全対策を求め。

答 安全面に配慮する

安全面に配慮し、使用について注意を促していく。

問 学校施設の照明の
LED化について

(自民同友会)

市立学校施設の照明のLED化について問う。

答 屋内運動場照明器具を
優先的に取替を検討

学校施設のLED照明への切りかえについては、早急に対応すべき課題であると認識。器具交換が

困難とみられる小・中・義務教育学校の屋内運動場照明器具を優先的に取りかえを検討しており教室等についても順次改修に取り組む。

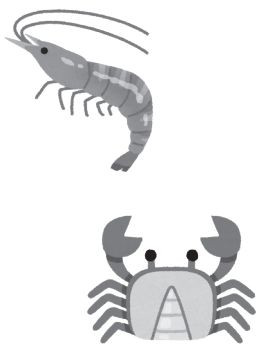
問 学校給食における
アレルギー対応について

(自民同友会)

9月議会一般質問において、本市での取り組み、方向性について伺ったところ、主要7品目に対する除去食提供の可否を政策会議で検討するとの答弁があった。これまでの経過と今後の方向性は。

答 来年度より
「エビ」「カニ」を除去

本市の学校給食のアレルゲン対応については、7大アレルゲンのうち、そば・落花生は献立に使用せずに提供を行っているところ。今後のアレルゲン対応については来年度よりえび・かにを除いた献立で給食の提供を実施していく。



問 小麦粉の安全性確保と
米飯給食の回数増を

(日本共産党)

米国産小麦を使った学校給食のパンから発がん性が問われるグリホサートが検出され、パン食の安全性が問われている。市独自の検査体制をとると同時に、近隣市で生産する安全な小麦の調達をしてはどうか。週3回実施している米飯給食の回数をいやすよう求める。

答 食材の確保、市独自の検査など
研究したい

小麦粉は大阪府学校給食会から納入。グリホサートを含む残留農薬検査では基準値以内の物を使用。しかし指摘の通り、食材の検査を市独自でできないか、食材の確保について研究していきたい。米飯給食は現在の週3回を4回にする。

問 幼児教育に対する
今後の方向性について

(青風会)

幼児教育の無償化が始まり保育のニーズが高まってきているが、待機児童問題も含めた今後の市としての方向性について問う。

答 幼稚園型認定こども園
開設に向けて整備

幼児教育審議会の審議をもとに、幼児教育・保育の無償化における3歳児保育の需要の高まりを踏まえ、3〜5歳児に対して、質の高い幼児期の学校教育、保育を一体的に提供できる施設として、幼稚園型認定こども園の令和3年4月開園を目指す。

問 ICT支援員の配置状況と
活動内容について

(自民同友会)

小学校においては、プログラミング教育が必修化されるなど、積極的にICTを活用することが想定されている。ICT支援員の配置と活動内容について問う。

答 さりなる活用を
図っていききたい

ICT支援員2名とプログラミング教育の授業支援員1名を配置し、安定したICT環境の運用、ICTを活用した授業の支援を行っている。ICT支援員に対する学校現場のニーズも高いことから、今後も活用を進めていきたい。

問 子どものインフルエンザ
予防接種補助実施を

(日本共産党)

インフルエンザの接種料金が高く、治療を受ける方が安価になることから、予防接種を受けない児童が多く、感染拡大による学級閉鎖が増加している。感染後数日で死亡した例もある。子どもたちの命を守り、教育・保育への影響を最小限に抑えるため、予防接種料金に対する補助を行ってはどうか。

答 近隣市町村の状況を見て
実施可能か検討する

府内でも一部助成している自治体もあり、本市でも財政状況も見ながら実施が可能か検討したい。

問 高齢者肺炎球菌ワクチンの
定期接種率向上を

(公明党)

肺炎で命を落とす高齢者を減らすため、公費助成制度を活用したワクチン接種が国において拡充された。これまで、公費助成による接種を逃した高齢者を一人でも減らし、また、健康寿命の延伸のため、市からの周知徹底を目指して個別通知や再通知をするべき。

答 個別通知の実現に努める

年4回広報誌などに掲載及びホームページを活用。個別通知は実現の方向性で検討していく。

問 保育の質の確保と
制度の詳細な周知を

(公明党)

幼児教育・保育は誰もが安心して子育てと仕事の両立を実現できるようにするための重要課題。

公明党による、無償化の実態調査アンケートでは「評価する」が約9割、今後の要望としては保育の質の向上が最多。本市においても、保育の質の向上や、制度内容の丁寧な周知に取り組みべきでは。

答 子ども・健康部と教育委員会が
連携し対応

現在、保育指導担当と幼児教育サポートチームが連携して各施設に助言・指導し、質の確保及び向上に努めているところ。

制度内容は広報誌などに掲載。市窓口で相談者一人ひとりのサービズに心じた案内を行っている。

問 石橋保育所の廃止方針と対応について

(日本共産党)

突然、石橋保育所の廃止方針を決定した経緯について問う。保護者への対応と地域に大きな影響があり、同地域での新保育所の再整備を敬老の里プロジェクトの中でも前倒しで進めるべき。敬老の里プロジェクト見直しの中では、これまでの市民の声を生かす計画を。

答 安全性を考慮した判断
再整備はスピーディーに

老朽化の中で大きな地震があった場合の危険性から廃止を判断。在所児の保育の継続を含め、誠実に対応する。地域に保育所をなくさない前提でタイムラグを少なくし、近隣で保育所の整備を速やかに決定したい。敬老の里基本構想をもとにプロジェクトを進める。



問 子育て支援につながる施策について

(新生クラブ)

本年10月よりプレミアム付商品券が展開され、子育てに対する支援の側面もあった。この施策を本市で継続できないか問う。また、子育て支援をより拡充するため、ふくまる子ども券の利用条件拡大を検討してはどうか。

答 財政状況を鑑みると
本市単独での実施は困難

プレミアム付商品券は国からの補助金で運用しており、本市単独で実施する場合約1億円の歳出が見込まれその実施は困難。また、ふくまる子ども券は制度の趣旨に沿う形での拡充に向け検討する。

問 「誰一人取り残さない」
障がい施策の充実を

(公明党)

就学前の重症心身障がい児の療育施設が本市にないことから、遠方の施設まで通わないといけない現状になっている。理学療法士の配置や、せめて移動支援だけでもできないか問う。

答 課題は認識
バックアップ体制を検討

移動支援は、タクシー代金の1割引きをタクシー会社の協力もで行っている。施設は、重要課題の一つとして、各種関係者や事業者とも連携を取りながら、バックアップ体制の整備を進めていく。

問 障がいの雇用を取り巻く環境について問う

(青風会)

障がいの就労の可能性を見出すべく、職場体験や実習の受け入れ先の開拓ができないか。また障がい者が働く事業所からの物品購入や仕事発注を心がせないか。

答 事業所で受注数の増加や
工賃向上に取り組み

就労継続支援事業所と連携し、支援を行っているところ。各事業において、受注数の増加や作業内容の効率化等により、工賃向上に取り組んでいる。今後の拡大については情報共有しながら支援の充実に努めていく。職業訓練や就労定着など一貫した就労相談が行えるよう関係機関と連携し、支援体制づくりにも努めていく。

問 介護予防としての
フレイル予防対策について

(青風会)

令和2年度から始まるフレイル健診について、特に閉じこもりがち高齢者に対する本市の考え方や取り組み方について、見解を問う。

答 健診に質問票を活用
高齢者の健康状態を把握

国の方針に準じ、質問票を健診に活用。医療専門職による保健指導を実施予定。地域で見守る・支えるという観点から地域包括ケアシステムの要素の一つと見做し、データを活用し健康状態が不明な高齢者への個別アプローチを実施予定。

問 水月公園の
維持管理について

(大阪維新の会池田)

梅林の梅の木が枯れ、花菖蒲園には、外来種が繁殖しているが、対応について問う。

答 適切な維持管理に努める

樹勢が弱くなる年もあり、自然な現象と認識。外来種については、薬剤による除去は花菖蒲への影響が懸念されるため、手作業で対応する。

問 景観の保全を含め
五月山緑地の方向性は
(新生クラブ)

市民が誇れる五月山の特徴を生かした五月山公園を含む五月山緑地の魅力づくりは。

答 五月山緑地の魅力を高め
にぎわいを創出する

民間活力を導入し、レクリエーションや憩いの場として魅力を高め、にぎわいを創出し、指定管理者制度や設置管理許可制度等を活用し利用者のニーズに対応した公園の利活用とマネジメントに努める。

問 デマンド交通などの
社会実証実験の必要性
(自民同友会)

さらなる高齢化の時代を迎えるに当たり、より一層きめ細やかなデマンド交通等が必要になってくると思われる。公共交通の充実に向けた実証実験の必要性を問う。

答 社会実証実験の早期実現に
取り組みたい

民間路線を主体とする公共交通が持続的に運営され、外出に不安・不便を抱える方も積極的に活動できる環境が必要であると考え、当面は福祉バスの見直しも含めて、よりきめ細かく、効率的な運行を行うためにも小型車両によるデマンド型の運行を検討していきたい。新たな交通や持続可能性を図る上でも社会実証実験は必要と考える。

問 改正バリアフリー法による
市の施策を問う
(日本共産党)

改正バリアフリー法による、まちづくりについて、市の施策を問う。また視覚障がい児・者に向けた環境整備について問う。

答 マスタープランを策定し
具体化を図る

バリアフリー推進協議会の中でマスタープラン策定へ協議を進め、実施・改善する事項をまとめ、横断歩道や踏切などのエスコートゾーンも検討する。また、図書館で視覚障がい者への資料提供なども実施している。

問 街角で気楽に腰かけられる
やさしい池田を
(日本共産党)

高齢化や夏の酷暑化が進む中、道路脇等に休憩用の椅子の設置を求める声が多い。また糖尿病の方から「続けて歩くのは200mが限界」との声も聞かれる。町なかにも座れるベンチを設置し、気軽に外出できるまちづくりを。

答 バリアフリー施策として
取り組む

バリアフリーマスタープランに位置づけ、民有地道路路面への椅子設置への公的支援、公共の建物でのベンチ付設を検討。市民要望に応じ公園ベンチの増設を進める。

問 商店街マンションは
法令上の問題はないか
(無所属の会)

商店街のアーケードより上階への放水が困難だが、建築基準法と消防法上では、問題はないのか。

答 2つの法令上では
問題はない

消防活動用空地、連結送水管があり、建物の上下式避難ハッチ等で活動可能なため消防法上問題なし。また裏の狭い道路がなくても、建築基準法上も問題ない。

問 上下水道部の技術を生かし
世界貢献を
(公明党)

世界では現在、安全な水を得ることができずに、多くの女性や子どもが、長時間、重さに耐えながら水を運んだり、不衛生な水によって命を落としたりしている。

世界目標のSDGsにおいても「安全な水とトイレを世界中に」は重要な課題である。

そうした中、各自治体水道局による国際貢献が活発に展開されている。本市保有の技術は課題解決に非常に有益。国際貢献の展開を。

答 国などからの要請に応じ
技術ノウハウを提供

本市が有する技術・ノウハウを提供し、国際貢献に寄与。さらに、人材育成のチャンスと捉える。



委員会 レポート



12月定例会では、12件の議案を、市議会に設置している常任委員会に審査付託し、細部にわたり慎重に審査しました。

12月23日の本会議では、各委員長が審査の結果報告を行い、市長から提出された12件の議案のうち、1件は修正可決し、残り11件はいずれも可決しました。

各委員会での審査の主な内容は、次のとおりです。

総務委員会

地方公共団体における市長官房への改称はなじまないのでは

《事務分掌条例の一部改正》

問 今回の提案は、市長の権限に属する事務を適正かつ効率的に遂行し得る行政組織に再編するため、事務局の改称等を行うものである。

市長公室から市長官房への改称については、官房という名称が、地方公共団体ではなじみのない名称であると考えますが、どのような考え方で提案したのか。

国の組織づくりについて

他市でも前例がない名称を提案

答 今回、組織改正を行うに当たって、今後の市長公室のあり方を検討した際に、危機管理体制の強化やさらなるコミュニケーションの推進、シティブロモーションの促進を最重要施策と位置づけ、より機能する組織へと改編しなければならぬという課題認識をもって行った。

それらの実現のためには、国における官房系の組織づくりにおいて、官房という言葉を使用することにより、市長を支え、より速やかに動くことのできるわかりやすい名称への改称が必要であると考えた。

さらに、本市は事始めのまちとして、前例にないことに挑戦するという気概を持って、他の自治体が採用したことのない市長官房という名称を提案した。

経営戦略部への改称は市民の理解が得られないのでは

《事務分掌条例の一部改正》

総合政策部から経営戦略部への改称は、利潤追求を目的とする企業が多用する戦略という名称を含んでおり、市民の理解が得られないのではないかと考えるが、見解を問う。

民間の戦略的な視点等を加えた都市経営の考えを示していきたい

答 今後の自治体運営においては、今までの総合的に政策を企画立案するという考え方から、民間のマネジメントや戦略的な視点を取り入れながら街の発展につなげていく都市経営という考え方が求められている。

また、近隣自治体においても、行政経営部や都市経営部など、経営という名称を積極的に使用している。

その上で、都市経営の考え方には

総合政策の考え方を包含しており、総合政策は一定の役割を果たしたという観点からも、時代に取り残されることなく、都市経営という新しい考え方を対外的に示していく社会的責務があると考え、改称を提案した。

文教病院委員会

預かり保育に対するニーズを反映した改正内容が

《幼稚園預かり保育条例の一部改正》

問 今回の条例改正は、市立幼稚園の預かり保育の実施日及び開設時間の拡充を図るものだが、社会ニーズを十分に満たした内容になっているのか、見解を問う。

利用者は増加する見込み

さらなるニーズの対応に努めたい

答 今回の改正は、保護者からの要望が特に多かった夏休みなど、長期休業期間中並びに午前8時から午前9時までの教育時間開始時刻前の預かり保育を拡充するもので、預かり保育の利用者は一定増加するものと見込んでいる。

現在、教育委員会としては、幼児教育審議会の答申を踏まえ、市立幼稚園をこれまで培ってきた

幼稚園教育をベースとした幼稚園型認定こども園に移行させ、保育時間の拡充や保育年齢の拡大を検討しており、さらに社会ニーズに対応した内容となるように努めていきたいと考えている。

厚生委員会

旧くすのき学園より五月丘保育所の解体費用のほうが高額な理由は

《一般会計補正予算》

問 今回、五月丘保育所の移転新築に伴う現五月丘保育所の解体工事に係る債務負担行為を追加補正しているが、解体費用の算出根拠について問う。

また、あわせて提案している旧くすのき学園の解体費用よりも五月丘保育所のほうが高額となった理由について問う。

建物の一部を手作業で解体する必要があるため

答 解体費用の算出に当たっては、土地の所有者から提出された見積書と本市が徴取した見積書を比較して、安価なほうの金額を計上している。

また、五月丘保育所の解体費用のほうが高額となった理由については、旧くすのき学園の建物が軽

量鉄骨づくりであるのに対し、五月丘保育所のほうは鉄筋コンクリートづくりであるため、建物の強度が高いことや、園舎が道路に面して建っており、現状では敷地内への重機の搬入が困難なため、建物の一部を手作業で解体する必要があるのである。

土木消防委員会

今後の環境政策の方向性は

《3R推進センター条例の一部改正》

問 3R推進センターを活用した今後の本市の環境政策の方向性について問う。

近隣地域との共生・補完により地域循環共生圏の確立を目指す

答 現在、環境教育のさらなる推進や一定の地域で賄った太陽光発電などのエネルギーをその地域内で使用する地域循環型社会の構築、また、農作物の残渣を肥料として再利用するなどのごみの地産地消の仕組みづくりに向けた取り組みを指定管理者に要望しているところである。

今後は、さらに地域ごとに異なる資源が循環する社会を形成しながら、近隣地域との共生・補完に

より広域的なネットワークや経済的なつながりを構築していく地域循環共生圏の確立を目指していきたいと考えている。

市営住宅への指定管理者制度導入による経費削減効果は

《市営住宅等指定管理者の指定》

問 今回の提案は、平成28年に一般財団法人池田市公共施設管理公社に関する検討委員会が出された答申、すなわち、公社が補助金事業により管理運営を行っている公共施設については、指定管理者制度の活用を検討すべきとの答申に基づき、市営住宅の管理事業に指定管理者制度を導入するものである。

指定管理者制度導入による経費削減効果について問う。

毎年約200万円の
人件費の削減が見込まれる

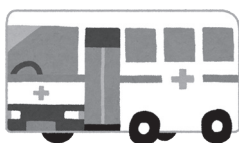
答 指定管理者制度導入による効果額については、移管予定である府営神田住宅に係る管理費や消費税などを指定管理者料に追加するため、若干費用は増加するものの、人件費で毎年200万円程度の削減を見込んでいる。

献血ご協力のお礼

昨年の10月23日と12月7日に池田市制施行80周年記念事業の一環として、本市議会主催で献血推進活動を行いました。

2日間にわたりたくさんの方々に足を運んでいただき、143名の方が献血の受付を、18名の方に骨髄バンクのドナー登録をしていただきました。

献血とドナー登録にご協力いただきましたまして誠にありがとうございました。



○市長提出議案及び議決の結果

議 案 名	議決の結果
平成30年度池田市病院事業会計決算の認定について	認 定 (全員異議なし)
平成30年度池田市水道事業会計決算の認定について	認 定 (全員異議なし)
平成30年度池田市公共下水道事業会計決算の認定について	認 定 (全員異議なし)
平成30年度池田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 (賛 成 多 数)
平成30年度池田市財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 (全員異議なし)
平成30年度池田市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 (賛 成 多 数)
平成30年度池田市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 (賛 成 多 数)
平成30年度池田市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定 (賛 成 多 数)
専決事項の指定に係る処分報告について 専決指定第2号 損害賠償の額を定め和解することについて	報 告
処分報告について 専決第6号 令和元年度池田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算 (第2号)	承 認 (全員異議なし)
池田市事務分掌条例の一部改正について	修正可決 (賛 成 多 数)
池田市水道事業給水条例の一部改正について	原案可決 (全員異議なし)
池田市下水道条例の一部改正について	原案可決 (全員異議なし)
池田市立幼稚園預かり保育条例の一部改正について	原案可決 (全員異議なし)
池田市立3R推進センター条例の一部改正について	原案可決 (全員異議なし)
損害賠償の額を定め和解することについて	原案可決 (全員異議なし)
市営住宅等指定管理者の指定について	原案可決 (賛 成 多 数)
都市緑化植物園指定管理者、五月山公園幹線園路指定管理者、五月山動物園指定管理者その他五月山緑地内の一部の公園施設に係る指定管理者の指定について	原案可決 (賛 成 多 数)
池田城跡公園指定管理者及び (仮称) 池田城跡緑道公園指定管理者の指定について	原案可決 (全員異議なし)
五月山緑地第1駐車場指定管理者、猪名川緑地駐車場指定管理者、空港緑地グラウンド指定管理者、五月山体育館指定管理者、テニスコート指定管理者、猪名川運動場指定管理者及び池田市立総合スポーツセンター指定管理者の指定について	原案可決 (全員異議なし)
都市計画公園等指定管理者の指定について	原案可決 (賛 成 多 数)
令和元年度池田市一般会計補正予算 (第8号)	原案可決 (全員異議なし)
池田市印鑑条例の一部改正について	原案可決 (全員異議なし)
人事院勧告に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決 (賛 成 多 数)
令和元年度池田市病院事業会計補正予算 (第2号)	原案可決 (賛 成 多 数)
令和元年度池田市水道事業会計補正予算 (第2号)	原案可決 (賛 成 多 数)
令和元年度池田市公共下水道事業会計補正予算 (第1号)	原案可決 (賛 成 多 数)
令和元年度池田市国民健康保険特別会計補正予算 (第2号)	原案可決 (賛 成 多 数)
令和元年度池田市介護保険事業特別会計補正予算 (第3号)	原案可決 (賛 成 多 数)
令和元年度池田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算 (第3号)	原案可決 (賛 成 多 数)
令和元年度池田市一般会計補正予算 (第9号)	原案可決 (賛 成 多 数)
池田市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例及び審査請求における提出書類等の写しの交付に関する手数料条例の一部改正について	原案可決 (賛 成 多 数)

市議会だより編集特別委員会

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
山元 建	守屋 大道	下 窄	藤 本 昌宏	西 垣	瀧 澤 智子	三 宅 正起

市民の皆様には日ごろから市議会に對しまして、温かいご支援とご指導、また貴重なご意見をいただき誠にありがとうございます。

12月定例会では、秦野小学校金管クラブの皆さんによる議場コンサートを開催しました。これは市民に親しみやすい議会を目指した催しです。総勢31名の児童による演奏は迫力があり、議場内から惜しみない拍手が送られました。

また、10月23日に池田駅前、12月7日には石橋阪大前駅にて、池田市制施行80周年記念事業として池田市議会が主催となり、「献血にご協力ください」と献血推進活動を全議員で行いました。

さて、本年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。聖火リレーは3月26日から7月24日の121日間に、47都道府県で実施され、約1万人の聖火ランナーが走ります。大阪府は10番目で、4月14日には12人のランナーが本市を通過する予定です。

これからも委員一同、市議会の審議内容をわかりやすくお伝えできるように編集に努めてまいりますので、どうぞご愛読いただけますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

や
ま
ば
と